

都市計画道路の変更に係る 「都市計画説明会」

令和4年5月



熱海市 観光建設部
まちづくり課 都市計画室

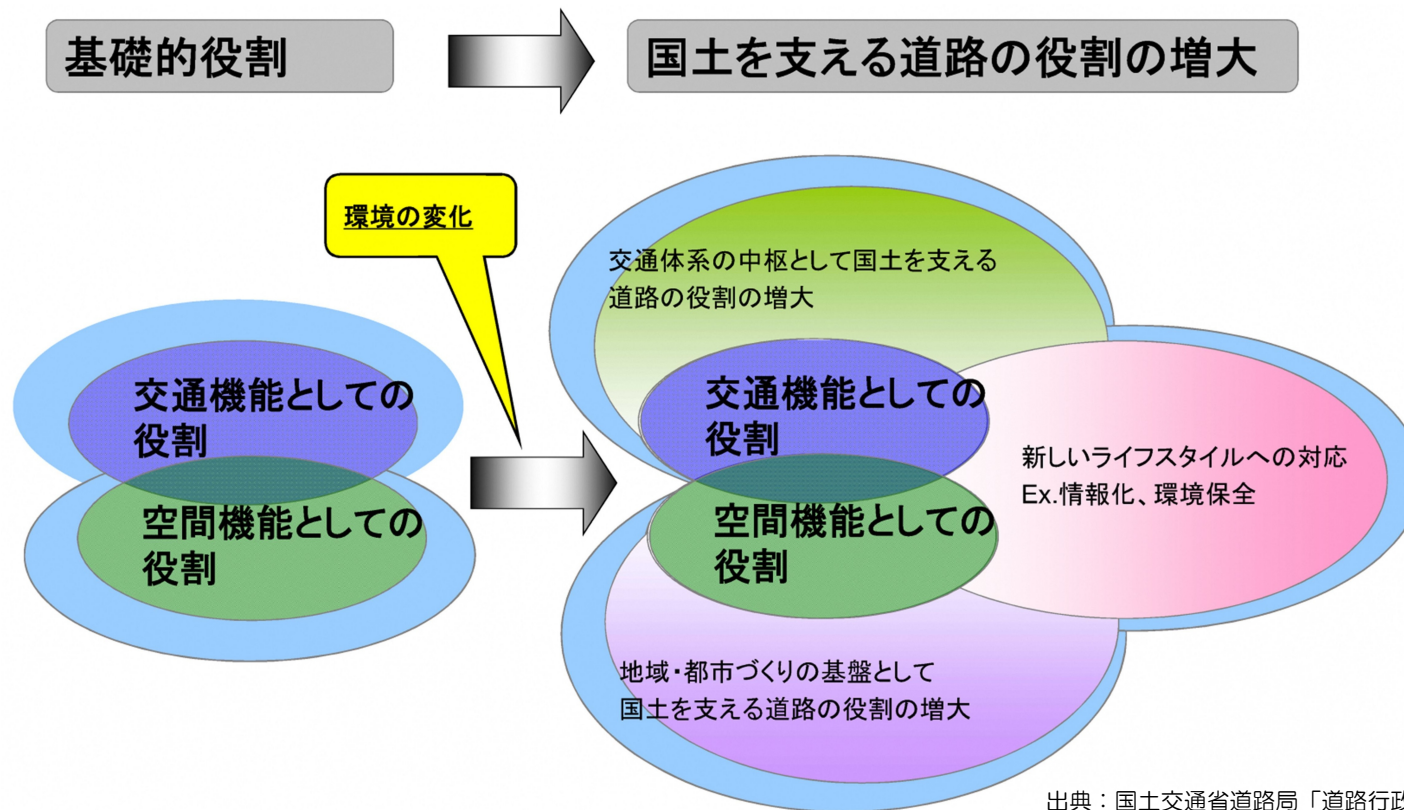
■ 説明内容

1. 都市計画道路の見直しの概要と経緯
2. 都市計画道路の必要性再検証
3. 都市計画道路の変更内容
 - (1) 南熱海地域
 - ① 宮脇片山線 (上多賀神社上側)
 - ② 風越藪ノ内線 (下多賀中野地先)
 - (2) 熱海地域
 - ① 温泉通り水口線 (水口町ほか)
 - ② 初川遊歩道2号線 (清水町ほか)
4. 今後の都市計画の手続

1. 都市計画道路の見直しの経緯と概要

(1) 都市計画道路とは

- 都市を形成するもっとも基本的な都市基盤施設
- 道路には、交通、環境、防災などのさまざまな機能がある
- また、一部道路では国土を支える道路としての役割もある



出典：国土交通省道路局「道路行政の簡単解説」

1. 都市計画道路の見直しの経緯と概要

(2) 見直しの経緯

熱海市の都市計画道路（21路線）

- 都市計画道路の整備率は約76%（令和4年3月末）
- 16路線は都市計画決定から50年が経過
- 11路線は未完成、うち2路線は未着手（整備率0%）



【社会情勢の変化】

- 人口減少、高齢化
- 社会保障関連の歳出増加
- 道路や橋などの修繕や耐震化
- 自然災害や今後予想される大規模地震への備え 等

将来を見据え、適切に対応する必要がある



【見直しの考え】

- 未整備路線である11路線を対象
- 地域特性や必要性、合理性等を検証

都市計画道路の見直し

2. 熱海市都市計画道路の必要性再検証

必要性再検証を進めるに当たっては、静岡県ガイドラインを参考に、熱海市都市計画道路必要性再検証ガイドラインを作成し、ステップごとに検証を行いました。

熱海市の都市計画道路（21路線）

【検証対象となる路線・区間抽出（ステップ1）】

- ・改良率が100%に達していない路線

検証対象となる路線・区間抽出 都市計画道路（11路線）

【必要性の検証（ステップ2）】

- ・検討対象となった路線、区間の位置づけを整理し、現在における必要性を検証

【合理性の検証（ステップ3）】

- ・配置、規模、機能等を検証し、地域の実情にあった合理的な計画であるかを確認

変更なし（現決定を維持）

見直し（変更・廃止）

新道路網による検証

必要性再検証方針

2. 熱海市都市計画道路の必要性再検証

●再検証の結果

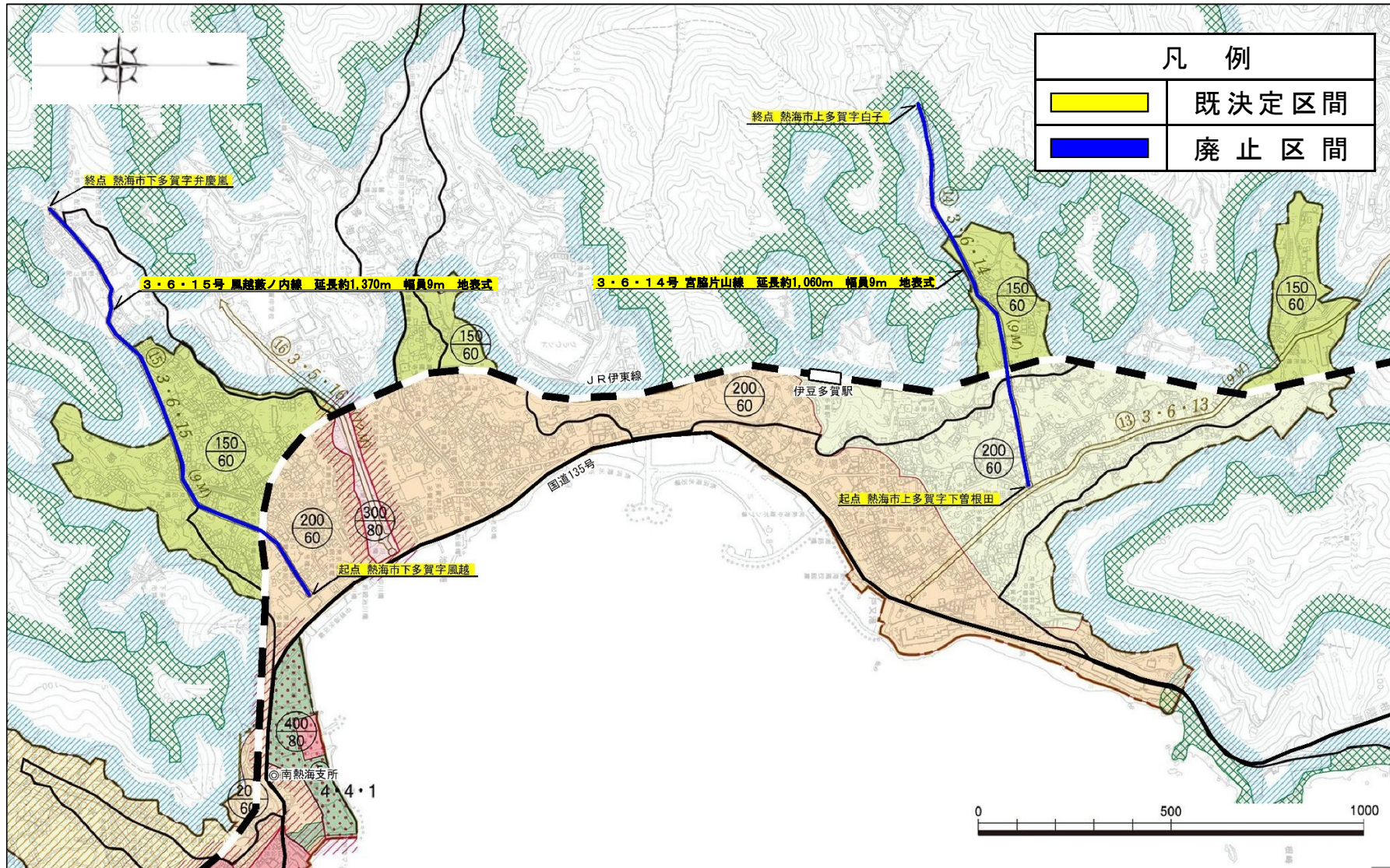
再検証の結果、一部区間の配置（現道路網での存続）が2路線、
計画の廃止（現道路網での存続）が2路線

対象路線	再検証の結果(変更内容)
宮脇片山線（※整備率0%）	計画の廃止(現道路網での存続)
風越藪ノ内線（※整備率0%）	計画の廃止(現道路網での存続)
温泉通り水口線	一部区間の廃止(現道路網での存続)
初川遊歩道2号線	一部区間の廃止(現道路網での存続)

再検証の結果、都市計画道路としての必要性は低く、廃止した場合にも将来の道路ネットワークに著しい影響を生じない上記4路線について、都市計画変更を行おうとするものです。

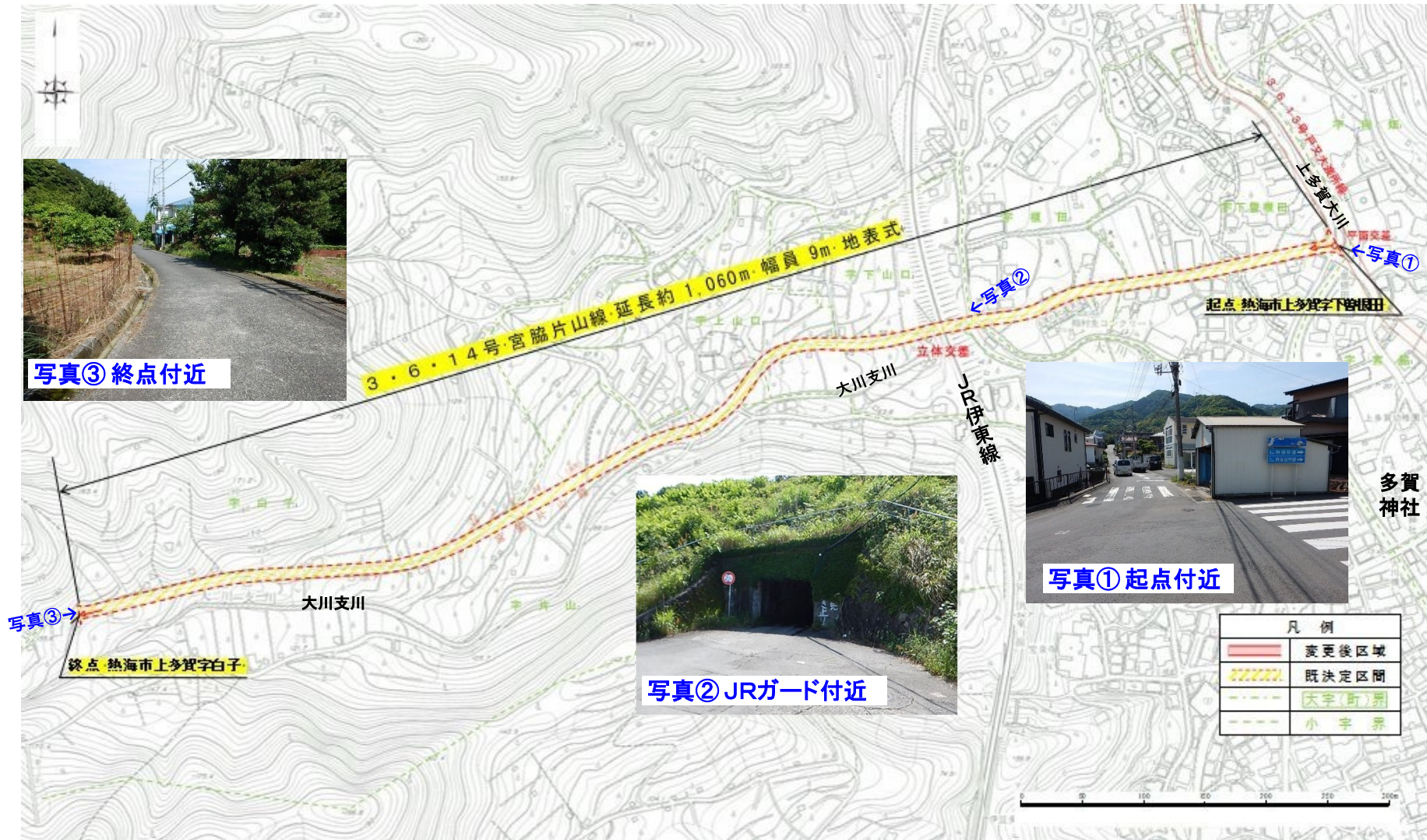
3. 都市計画道路の変更内容

(1) 南熱海地域【位置図】



3. 都市計画道路の変更内容

① 宮脇片山線【拡大図】



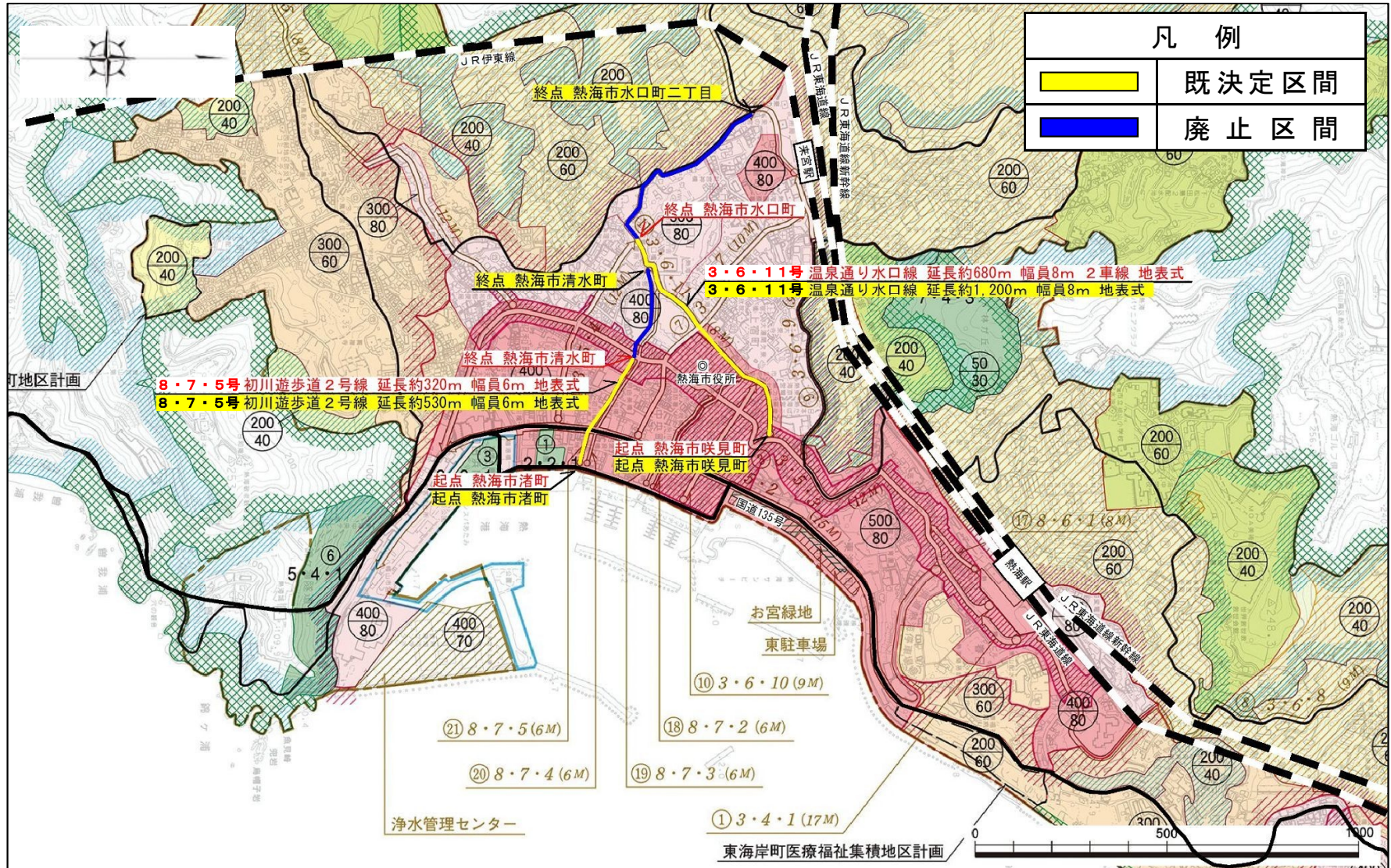
3. 都市計画道路の変更内容

② 風越藪ノ内線【拡大図】



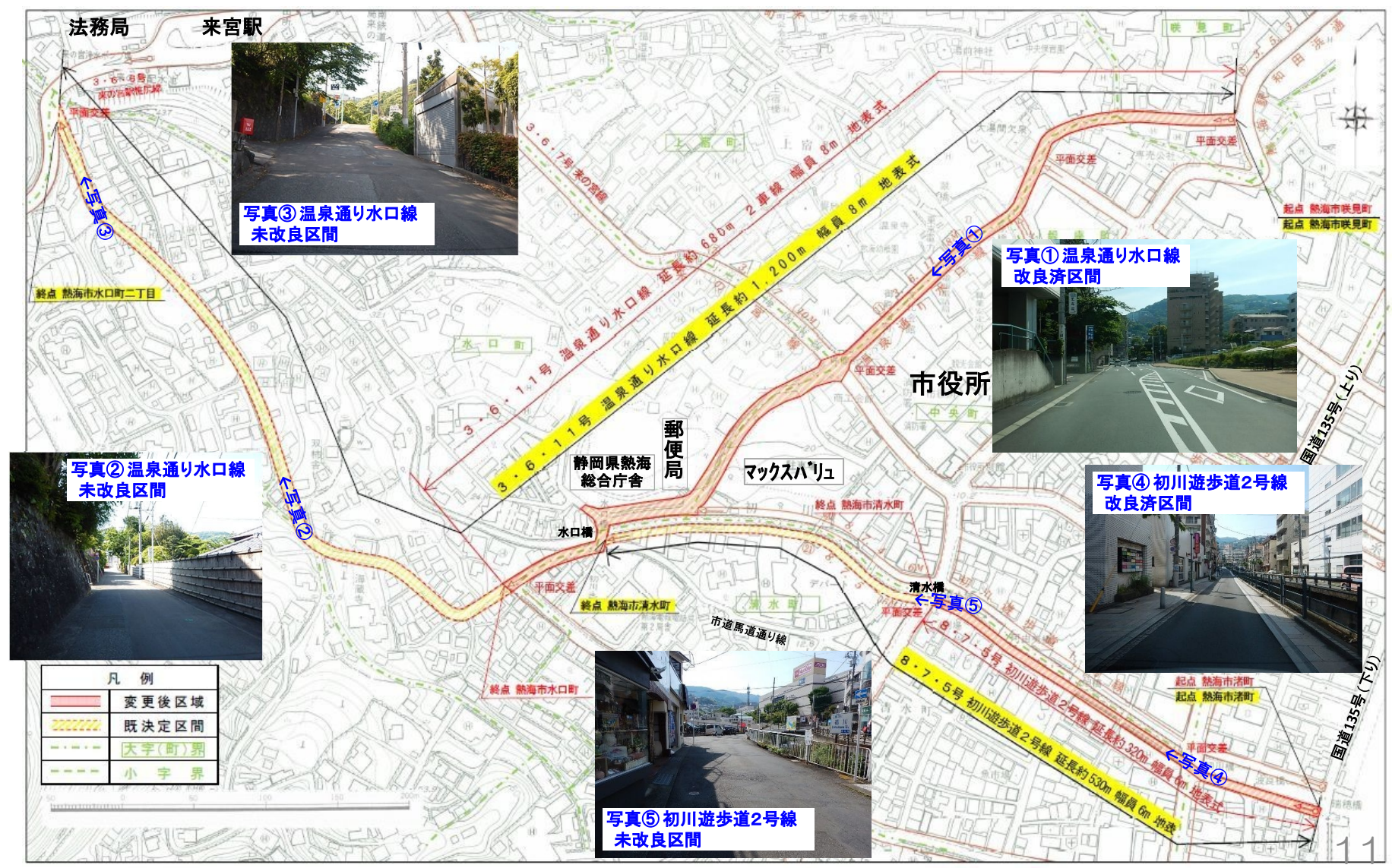
3. 都市計画道路の変更内容

(2) 熱海地域(水口町・清水町ほか) 【位置図】



3. 都市計画道路の変更内容

① 温泉通り水口線、② 初川遊歩道2号線【拡大図】



4. 今後の都市計画の手続

